

秘

行政機構整備實施ノ爲ニメル内務省官制中改正ノ件

參照添附

昭和十八年十月五日	決議
昭和十八年十一月一日	公布
勅令第八百四號	

勅令第 號

内務省官制中左ノ通改正ス

第一條第一項中「土木」ノ下ニ「、國土計畫」ヲ加ヘ「、防空」ヲ削ル

第三條中「十九人」ヲ「十七人」ニ改ム

第四條中「五局」ヲ「四局」ニ改メ「防空局」ヲ削ル

第七條第一號中「地方計畫」ヲ「國土計畫、地方計畫」ニ改ム

同條第六號中「、港灣」ヲ削ル

同條第七號中「公有ノ水面」ノ下ニ「（港灣内ノ水面ヲ除ク）」ヲ加フ

第八條ヲ削リ第八條ノ二ヲ第八條トス

第九條 削除

第十條中「專任内務事務官二十二人」ヲ「專任内務事務官十二人」

ニ、「專任内務理事官七人」ヲ「專任内務理事官四人」ニ改ム

第十一條中「專任監査官二人」ヲ「專任監査官一人」ニ改ム

第十一條ノ二ヲ第十一條ノ三トス

第十一條ノ二 内務省ニ專任調査官五人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ

承ケ調査ヲ掌ル

第十二條第一項中「專任技師三十人」ヲ「專任技師九人」ニ、「内

二人」ヲ「内一人」ニ改ム

同條第二項中「二百二十二名」ヲ「百四十七名」ニ改ム

第十二條ノ二第一項中「、港灣」ヲ削ル

第十二條ノ三及第十二條ノ四ヲ削ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前發生シタル災害ニ因ル港灣災害土木ニ關スル事務（直轄

工事ニ係ルモノヲ除ク）ニ付テハ運輸通信省官制第一條ノ規定ニ拘

ラズ仍従前ノ例ニ依ル

警保局

國土局

防空局

管理局

中略

第七條 國土局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 國土計畫、地方計畫及都市計畫ニ關スル事項
- 二 本省直轄ノ土木工事ニ關スル事項
- 三 東京都府縣經營ノ土木工事其ノ他公共ノ土木工事ニ關スル事項
- 四 直轄工費及土木工費補助ニ關スル事項
- 五 軌道ノ特許及監督ニ關スル事項

六 河川、道路、港灣及砂防ニ關スル事項

七 公有ノ水面（港灣内ノ水面ヲ除ク）及水流ニ關スル事項

八 土地收用ニ關スル事項

第八條 防空局ニ於テハ防空ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條ノ二 管理局ニ於テハ朝鮮總督府及臺灣總督府ニ關スル事務ヲ掌ル

第九條 削除

第九條 內務省ニ防空局參與ヲ假キ防空局ノ局務ニ參與セシム

防空局參與ハ內務大臣ノ奏請ニ依リ關係各縣高等官及學識經驗アリテ之ノ中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ス

學識經驗アリテ著ノ中ヨリ命セラレタル參與ノ任期ハ三年トス但シ特別ノ事由アリハ場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ガズ

第十條 內務省ニ專任内務事務官百十二人 專任内務理官四人
ク兼任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス
專任監査官一人

第十一條 內務省ニ專任監査官二人ヲ置ク兼任トス上官ノ命ヲ承
カ行財政ノ監査ニ關スルコトヲ掌ル

第十一條ノ二 內務省ニ專任調査官五人ヲ置ク兼任トス上官ノ命ヲ承
ケ調査ヲ掌ル

第十一條ノ三 內務省ニ專任檢閲官二人ヲ置ク兼任トス上官ノ命ヲ承
ケ出贖物等ノ檢閲ニ關スルコトヲ掌ル
專任技師九人 内一人

第十二條 內務省ニ專任技師三十人ヲ置ク内二人ヲ勅任ト爲スコトヲ
得

內務省ニ專任尉及專任技手職シテ二百二十二人ヲ置ク
百四十七人

第十二條ノ二 內務大臣ハ必要ニ應ジ土木出張所又ハ土木試験所ヲ置
キ直轄土木工事並河川、道路、港灣、及砂防ノ調査試験等ニ關スル事
務ヲ分掌セシムルコトヲ得

土木出張所及ハ土木試験所ニ所長ヲ置キ技師ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條ノ三 內務省ニ専門委員ヲ置キ防空ニ關スル専門ノ事項ヲ掌
掌セシム

専門委員ハ内務大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於
テ之ヲ命ズ

専門委員ノ任期ハ二年トス但シ殊別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中
之ヲ解任スルコトヲ妨ケズ

第十二條ノ四 內務省ニ防空研究所ヲ置キ防空ニ關スル研究及講習ヲ

兼任内務事務官十二人

ニ防犯資材ノ検定ノ事務ヲ兼ラシム

防犯研究所ニ所長ヲ置キ技師ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行前發出シタル真書ニ因リ港務及海士米ニ關スル事務（直轄工
 事ニ係ルモノヲ除ク）ニ付テハ運輸省信省官制第一條ノ規定ニ拘ラス
 仍舊前ノ例ニ依ル

内務省官制中定員改正簡

官名	現行官制 定員	防犯總本 部ノ設置	港灣關係 事務移管	國土計畫事 務ノ移管増	人員縮減	改正官制 定員	備考
内務書記官	一九	△二	△一	二	△一	一七	
内務事務官	二二	△八			△二	二二	
内務理事官	七	△三				四	
内務省監査官	二			五	△一	一	
内務省調査官						五	
技師	三〇	△一九			△二	九	
技屬 手	二二二	△六六		六	△一五	一四七	

港 灣 關 係 職 員 調

計	技 手	農	內 務 技 師	士 木 事 務 官	內 務 書 記 官	官 名
						官 制 別
一					一	官 制 別 內 務 省 官 制
三 〇 九	一 六 二	八 四	五 九	四		臨 時 職 員 制
三 一 〇	一 六 二	八 四	五 九	四	一	計
						備 考

〔参照〕

金屬回收本部官制

昭和十八年三月二十四日
勅令第百六十九號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ金屬回收本部官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ
シムルニ總理、商工大臣副署ス

金屬回收本部官制

第一條 金屬回收本部ハ商工大臣ノ管理ニ屬シ金屬類ノ回收ニ關ス
ル事務ヲ掌ル

第二條 金屬回收本部ニ左ノ職員ヲ置ク
本部長

同收官

專任十五人

兼任

同收官補

志任三十人 列任

第三條 前條ノ職權ノ外商工大臣ノ奏請ニ依リ關係各高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ同收官ヲ命メテトシテ

第四條 金融同收本部ニ參與ヲ置キ部員ニ參與セシム

參與ハ商工大臣ノ奏請ニ依リ關係各高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第五條 金融同收本部ニ專門學識ヲ置キ同收事件ノ評價ニ關スル專門ノ事項ヲ調査セシム

專門學識ハ商工大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

専門委員ハ其ノ職務ニ關シ知悉シタル秘密ヲ漏洩スルコトヲ禁ズ

第六條 本部長ハ商工大臣ノ指揮監督ヲ受テ事務ヲ統理シ部下ノ職員

ヲ指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ掌行ス

第七條 同放官ハ上官ノ命ヲ受テ事務ヲ掌ル

第八條 同放官補ハ上官ノ指揮ヲ受テ事務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

秘

行政機構整備實施ノ爲ニスル防空總本部官制制定ノ件

參照添附

昭和十八年十月五日	決議
昭和十八年十一月一日	公布
勅令第八百六號	